

# 令和4年度 発達障害者思春期・青年期相談援助講座

## 配慮が必要な思春期の子どもへの支援 ～不適切な自己主張への対応を中心に～

ルールを守れない、止めると感情の制御が難しくなる、学校や事業所に行き渋る等々……どうしたらいいかと悩んだことはありませんか？

親や周囲が“困った”と感じる子どもの行動を何とかしようとしたとき、正しい方法を伝えるだけでは、うまくいかないことがあります。

発達凸凹があると、失敗や挫折の繰り返しから、感情や行動にゆがみが生じ、周囲が困ったと感じる行動をとってしまうことがあります。実際の生活の場面では、説諭・傾聴だけでなく、なんとかその場を乗り切る方法も必要になってきます。

今回は、少年非行の現場で多くの発達障害児にも接してきた**小栗 正幸**先生を講師にお招きしました。戸惑いや悩みを抱える思春期にある子どもとの「対話」について、豊富な事例をあげて、わかりやすくご紹介いただきます。ご多忙中とは存じますが、皆様ふるってご参加ください。

おぐり まさゆき

### 講師：小栗 正幸 氏

法務省に所属する心理学の専門家（法務技官）として、犯罪者や非行少年の資質鑑別に従事し、京都、大阪などの少年鑑別所や成人矯正施設に勤務した後、鳥取少年鑑別所長、宮川医療少年院長を経て退官。現在は各地の教育委員会、学校、福祉関係機関、発達障害関連の「親の会」等への支援と、トラブル対応を中心にした研修を行っている。専門領域は、思春期・青年期の逸脱行動への対応。

特別支援教育ネット代表。京都府教育委員会専門家チーム委員、三重県教育委員会事務局特別支援教育課発達障害支援員スーパーバイザーなど

著書「発達障害児の思春期と二次障害予防のシナリオ」「ファンタジーマネジメント（“生きづらさ”を和らげる対話術）」「支援や指導のむずかしい子を支える魔法の言葉」等



- 日 時 令和5年2月15日（水）10:00～12:00
- 開催方法 Zoomによるオンライン講座
- 定 員 90人（先着順、参加費無料）
- 対 象 広島市在住で、発達障害の診断を受けたおおむね10歳から25歳の方（発達凸凹が気になるお子さんを含む。）の保護者、支援者など
- 主 催 広島市こども未来局こども・家庭支援課、広島市発達障害者支援センター
- 申込方法 左記QRコードを読み取るか、「広島市 思春期・青年期講座」で検索して、専用の入力フォームからお申し込みください。  
先着順となりますので、申込期限に関わらず、定員に達し次第、受付を終了させていただきます（原則として、受付と同時に受講決定）。  
また、受講決定者には、2月13日（月）までに、申込入力フォームで御入力いただいたメールアドレス宛に、視聴用のURL等をお知らせいたします。
- 申込期限 令和5年2月9日（木）
- 問合せ先 広島市こども未来局こども・家庭支援課（障害児支援係）  
TEL: (082) 263-0683 FAX: (082) 261-0545  
e-mail: ko-shien@city.hiroshima.lg.jp

